



描かれたキャンパス

武庫川学院の景観

武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室 2019年度春季展覧会

2019年4月3日(水) - 5月29日(水)

開館時間 = 10:00 ~ 16:40 (土曜、日曜、祝日 閉館(但し5月26日開館))

場所 = 武庫川女子大学学術研究交流館5階ギャラリー

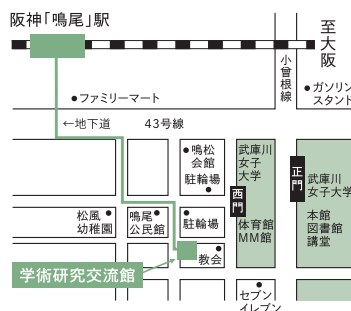
〒663-8558 兵庫県西宮市池開町 6-46 アクセス = 阪神電車「鳴尾(武庫川女子大学前)」から徒歩5分
TEL (0798) 45-3509 ※専用の駐車スペースがございません。公共交通機関でお越しください。

ミュージアム・トーク…藤井 達矢・横川 公子

①4月17日(水) 12:30 ~ ②5月8日(水) 12:30 ~ 場所 = 学術研究交流館5階ギャラリー

アーティスト・トーク…森 幹雄

5月15日(水) 12:30 ~ 場所 = 学術研究交流館5階ギャラリー



水彩画「音楽館前より学院記念館をSketchする学生」 森 幹雄(元 武庫川女子大学教授)

描かれたキャンパス

武庫川学院の景観

武庫川学院のキャンパスを描いた絵画作品(オリジナル)を取り上げています。

教職員や生徒・学生・卒業生など関係者によって、様々な視点・様々な画材を用いて表現された絵画は、

その時々の中の気配さえも感じさせるものであり、全てを均質に映し出す一般的な記録写真とは違って非常に味わい深いものです。

それは、武庫川学院の歴史を築いてきたのが、紛れもなくそこにいた一人ひとりであることを如実に物語ります。

校祖公江喜市郎先生をはじめ、教職員・学生・生徒ほか関係者のすべての人のそれぞれの思いが、学院を彩り、

重なり合い、連綿と紡がれてきました。そして今、その彩の表象である「絵画」を前に、

次世代へとつなぐべき武庫川学院を考える機会としたいと思います。



1. 油彩画「桜咲く学院庭1」中西清 2. 木炭画「甲子園会館 玄関」奥野元昭 3. パース 武庫川女子大学附属中央図書館(株式会社 竹中工務店) 4. 水彩画 無題 山田麻未(建築学科学生)
5. 印刷物「武庫4」岡野幸代(当時附属高等学校3年生) 6. 水彩画 無題 古賀未侑菜(生活環境学科学生) 7. 油彩画 無題 柳田梨衣(当時附属高等学校2年生)

PROFILE [出展者プロフィール]

中西 清 (元 武庫川女子大学教授)

1925年兵庫県多紀郡篠山町(現・篠山市)生まれ。1948年官立東京高等師範学校芸術科卒業。1948年から1983年まで県教育に携わる。1983年、武庫川女子大学文学部教育学科着任。1992年退職。1985年遷暦記念個展から2005年傘寿記念作品展まで個展18回開催。いなみの学園老人大学や絵画サークル鳴尾会の講師も務める。著書に干支集『年賀状絵図慶賀詞書写』発行。2010年永眠。2018年に故郷篠山町にて遺作展開催。

森 幹雄 (元 武庫川女子大学教授)

1951年大阪市生まれ。大阪市立大学大学院工学研究科建築学専攻終了。一級建築士・工学博士。2002年武庫川女子大学に着任、2019年退職。専門は建築計画、建築設計、特に図書館計画及び劇場計画。主な建築設計作品に備前市市民センター、滋賀県立水口文化芸術会館(麗しの滋賀建築賞)、駒ヶ根総合文化センター(公開設計競技1等、日本図書館協会建築賞)、阪南市立西鳥取公民館、津山市立図書館など。2018年「街並みの表情スケッチ展」を甲子園会館で開催。

福井 研一 (武庫川女子大学附属中学・高校 美術科教諭)

1985年京都市立芸術大学美術学部卒業。1988年より附属中高に奉職。個展3回、グループ展多数。展示作品は以前、高校2年生(美術選択)課題「風景画の制作」の参考作品として制作したものです。校舎内の植え込みに当たっている光と陰の美しさに注目して描きました。

奥野 元昭 (武庫川女子大学非常勤講師 オープンカレッジ講師)

1950年神戸生まれ。武蔵野美術大学油絵科卒。山口長男に師事。無所属。個展を中心に活動。展示の木炭画「甲子園会館 玄関」は午後の光の中で大きな楠木の下から描き、「甲子園会館 庭園より」は午前中の光の中で桜の下から描きました。この建物に魅せられて。

川邊 嘉章 (オープンカレッジ講師 洋画家)

1952年、西宮市に生まれる。1977年開催の西宮市展にて市展賞一席と西宮市大谷記念美術館賞を同時受賞。第27回・28回の一陽展にてそれぞれ奨励賞・特待賞を受賞し、1983年には一陽会会友に推挙される。同年スポーツニッポン連載小説「最後は真ん中高目」の挿絵を担当。1988年一陽会会員に推挙される。個展として、1999年「誰もいなくなった…」川邊嘉章展が、翌年には『川邊嘉章水彩風景展-水のある風景を中心に-』など、大阪、神戸を中心に開催される。現在、一陽会委員、日本美術家連盟、神戸芸術文化会議会員。

木藤 善九郎

木藤先生には、本学の絵葉書の原画をご提供いただきました。阪神淡路大震災で崩壊した建物を目の当たりにして、好きな建物と引き寄せられる魅力を持った景色が残っている間に、自分の記憶と思い出として絵に残さなければと、絵を描き始めたのがきっかけだそうです。現在もいろいろな場所を散策しながら、風情ある建物・魅力あるスポットを見つけて描き続けておられます。